

やり直しの難しい乳幼児期です 一人ひとりの心を大切に育てます



私たちが目指すもの

ひとりひとり

かけがえのないこどもたち

こどもたちひとりひとりに

あなたはかけがえのない

大切な命であること

その命は輝き


そのものであること

これらを知ってもらうこと

心から感じてもらうこと

それが私たち大人の使命です

地域、保護者、社会に支えられ創立48年
こども一人ひとりの

“なぜ?” “どうして?” “なに?” の 
「言葉」「笑顔」は「遊びいっぱい生活」から

自然体験には 発見と感動があります

- 自然の中で遊ぶと、心は解放され、生き生きとします。
- 自然は美しさだけではなく、暑さ、寒さ、台風、大雪などの厳しさも教えてくれます。
- こどもたちは四季のうつろいを感じながら、刺激を受けて
こどもの時ならではの発想を、豊かにしていきます。



「学び」を支える 保育環境と

あそびのいろいろ

- こどもは自分の好きなことに十分に取り組んだ後は、表情がきらきらと輝きます。
- 自然に恵まれた公園や園のまわり、そして野菜園まで散歩し、かくれんぼをしたり、みんなでゴミを拾って、公園の木立に「ありがとう」の気持ちをこめることも。季節を感じ、自然を慈しむ一時です。



砂場には人間関係の基本がいっぱい～い 「五感」と「情緒の安定」に



- 自然素材を生かして遊べる充実感を、思いっきり子どもたちと味わっていきたいです。

幼稚園での「砂」「泥遊び」の後はお湯のシャワーで手や身体を丁寧に洗い、タオルで拭き清潔であることの気持ち良さを感じます。「着替え用」の衣類に着替えてきれいにしていくなかで、子どもたちは生活習慣が身につきます。

砂遊びや泥んこ遊びで服はよごれますが、楽しさには変えられません。

- お子さまが「いっぱい遊んで面白かったあ!」とお家に帰ったら「今日はこんなに汚して遊んだのね **楽しかった?**」と明るく声をかけてあげてくださいね。

ステーション(異年齢)の遊び

年間(春、夏、秋、冬)を通した遊びです。

- ◆ クラスの壁・学年の壁をはずした中で、子どもたちの育ちに合わせ、保育者が用意した遊びや、子どもたちが興味を抱く思う遊びを進める全園的な遊びです。保育者の見方が偏らないよう、こども一人ひとりの「心」をくみとり、丁寧な見取りを大切にしながら、ステーション遊びをとりいれています。



園児の一日の生活リズム

「静」と「動」の生活が自然に流れます

幼稚園部 通常保育

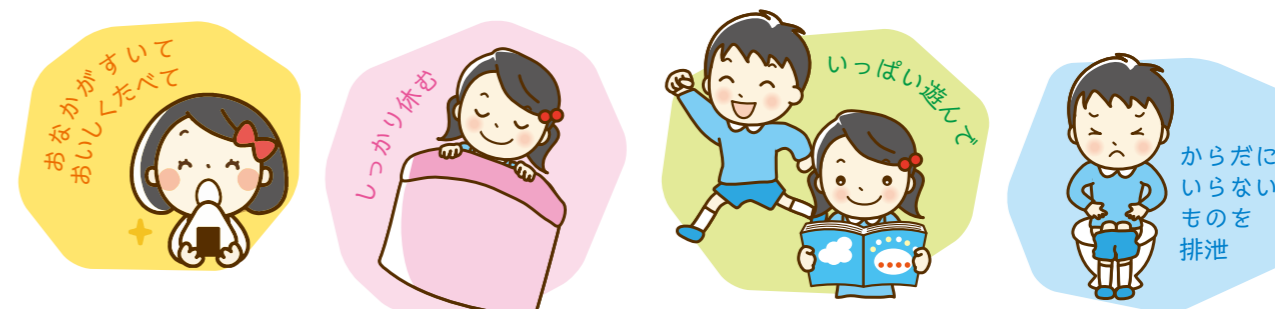
8:30-9:00頃 登園(静)	○登園 着替えや荷物の整理をします。
9:00～	○好きな遊び 保育者が整えた環境に興味をもって自分から関わり、好きな遊びをします。
10:20頃 (動)	○クラスや学年で取り組む活動 保育者が先を見通した遊びを提案し学びを支えます。
11:40頃	○昼食(完全給食) 昼食の前には排泄、手洗い、大切なリズム。 みんなで食べる給食は、大切な一斉活動の時間です。
12:40頃 (静)	○休息 昼食後のおなかの休憩時間です。 午睡 *満3歳児・3歳児は必要に応じて午睡を取っています。
13:00頃 (動)	○好きな遊び 思い思いに好きな遊びを楽しみます。
14:00過ぎ (静)	1日をみんなと振りかえり、素話や絵本の読み聞かせなどで明日につなげる静かな時間を過ごします
14:30	○降園 ○さようなら(順次降園・延長保育)

保育園部 通常保育

7:30～	開園(早朝保育)・順次登園 好きな遊び	
9:30頃	午前のおやつ、クラスでの遊び	
11:00頃	給食、午睡	
14:30頃	目覚め	
15:00頃	午後のおやつ 明日につなげる静かな時間 素話、絵本など	
16:00頃～	順次降園・延長保育	
19:00	閉園	

- ◎こどもは、生活リズムが整うと、安心します。
- ◎早寝、早起きを基本にした、規則的な毎日を繰り返すことで、こどもの心と、からだのバランスよく育ちます。

「食べる」「寝る」「遊ぶ」「排泄」



こどもは、周りにあるすべてのものを
遊びの素材にします

作る



まわりと行動する



やり遂げる



みんなで作った
牛乳パックの
いかだにのれたよ!

描く



▲ こどもの想像の
幅を広げてあげ
られること



▲ 描きたい絵を描く
環境づくりを心掛
けます

▲ こどもの表現を
そのまま受け入
れること



遊びの素材の一例

みつろうクレヨン

- 安全性と発色の美しさや高い透明感。重ね塗りもできるクレヨンです。
- ブロッククレヨンは角を使って線を描くこともでき、面も使えるのが特徴です。
- 無限の色彩体験を楽しめます。
- みつろうクレヨンは、蜜ろうと食用の色素を使っているため、小さな子どもの口に入っても安全です。



小麦粉粘土

- 当園の2歳児・満3歳児・年少児は、柔らかくて手のひら全体を使ってのびのびとできる小麦粉粘土を使用しています。
- 粘土の扱いづらさに妨げられることなく、遊ぶことに集中できます。
- いろいろな形が作れる紙よりも、さらに思うとおりになる魅力ある、自由になる素材です。
- お母さんの肌の感触のような保育者手づくりの小麦粉粘土です。



魔法の板「カプラ」

- 松の木ならではの軽さと崩したときに「カラカラ」と響く心地いい楽しい音。
- こどもたちがイメージする世界をかたちにするシンプルな板。



廃材あそび

- こどもの心が動く素材の一つに廃材があります。
- 画用紙の切れ端、くり抜いた木材のあまり…何でも自在に形を変えられます。
※素材を大切に思う気持ちを遊びの中で感じ、育んでいます。
- 読んで捨てるだけの新聞が遊びの素材として大活躍です。
- 「やぶく」、「まるめる」、「ねじる」、「貼る」、「折る」、「描く」など



ジルケ人形

- あえて顔に表情をつけないことで、こどもが想像力を働かせることができる抱き人形たち。
- いたわること、思いやることを知ってほしいという願いを込めて女の子にも男の子にも手渡してあげます。
- 身長35cmの抱き人形、いっしょにお出かけするのにちょうどいい大きさです。



実体験が育む 豊かな感性と判断力

■ 当園は、こども野菜園でも遊んでいます。小さな種や苗であったものが“太陽”と“水”と“気”によって育ち、実をつけていく様に触れ、その実を使い、食す体験です。

■ 野菜の双葉の時期、茎が伸びる時期、葉が茂るとき、つぼみをつけるとき、花を咲かせるとき、実をつけるとき・・・そのときどきを楽しみながら、大切に見守る中で、優しさや驚き、不思議さを感じていきます。

こどもたちは自然とのつながりを深め、実体験を通して本物のいのちの大切さを感じます。

■ こどもたちにとって、自分たちが育てたものが、おいしく食べられる、この感動体験は、どんな**ことば**や**知識**にもまさります。

いのちのつながり ～自然が好きなこどもに～



さつまいも



さつまいものつるでつなひき



こどもたちが食べることを
楽しめる食事環境が大切です



『英語に親しむひとときを』

● ねらい

- 「英語に親しむひとときを」のすべての遊びの中で英語の感覚に親しむ。
- 遊びの中で英語の「発音の響き」を楽しむ。
- ネイティブスピーカーの講師により口から伝え、耳から英語に慣れていくことで、乳幼児期の「耳」に英語の響きを届ける。

▲ 内容

- △ 遊び、歌、絵本から入っていくなど、幼稚園の日常に繋がる遊びを英語の導きで行う。
- △ ネイティブスピーカーとの繰り返しのふれあいの中で、実際に体を動かし、自然とストレスなく、「耳」から英語に慣れる。

- ◆ 当学園では、次のような趣旨で幼児英語に取り組んでいます。
- ◇ 幼児期の英語は「教育」ではなく、こどもたちが相手の言葉を、耳から、覚える。
- ◇ 外国人が教えれば良い、英語を教えれば良いというものではなく、英語に親しむ。
- ◇ こどもたちの発達について、知識・経験のある方がどうかという観点で講師を招いています。
職員は、日々の遊びの中で言葉のキャッチボールをし、遊びを膨らませ、母国語である日本語の表現力(て・に・を・は)を育てています。



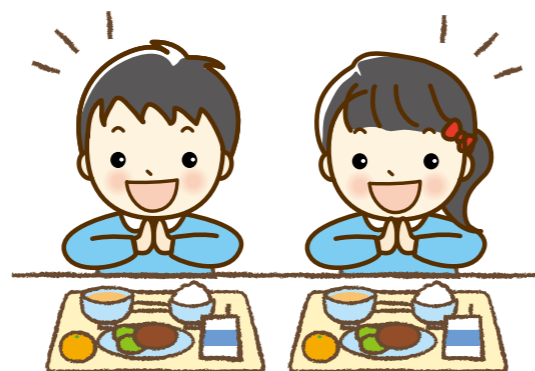
給食(食育)の役割

主食 主菜 副菜 の「3つの器」を心がけます。

はらぺこ体験が一番の食育

◆最近では朝食にパン食(菓子パン)のご家庭も多いようですので、栄養面でも注目されている「玄米」も使い、毎日の献立にお米を取り入れています。動物性蛋白質だけではなく、旬の野菜と良質な植物性蛋白質である豆製品も多用した、一見派手さはなく地味であっても丁寧に作られた[おかず]を用意していきます。

◆食べ物は「生きもの」。食べることは、生きることです。食材そのものと、作ってくれた人に感謝をし、「いのち」をいただいていることを幼児期に実感できるように保育者としてつとめて参ります。



乳幼児期は感性を大切に 歌・わらべうたは、豊かな言葉の種を育む

- 歌やリズムは私たちの生活を潤してくれます。一緒に歌うことで、一体感を楽しみ心を解放するひとときを味わいます。
- 幼児期は、歌いたい、弾きたい、きれいだな、楽しいな・・・という思いを知っていきます。
- わらべうた ♪♪♪ 大人からこどもへ・おとうとやいもうとへと遊び、歌いつがれていってほしいと思います。(大人の語りかけが大切)

からすかずのこ



こども一人ひとりには
生まれながらに**表現**を持っています

日々の遊びの
ひとこま

おうちの人と
ふれあい遊び



メロディオン奏
響きがこだまして
きそうです

一人ひとり
心を合わせて
手話つきで歌って
います。



「リトミック」遊び

- ◆ リトミック遊びは、幼児期に行うことにより豊かな想像力で生まれ持っているリズム、素直に表現できるしなやかな体と感受性豊かな優しい心を育みます。
- ◆ こどもたちの内面にあふれる、音楽表現の豊かさが潤います。



こどもは
ピアノの音色で
リズムを感じ、
心が動きます

いつでもどこでも ～遊びが育てるこどもの体力～

◆ すみずみまで身体を動かす大切さや、ころんだり、すりむいたり小さな体験のステップを重ねて、逞しさや判断力が育ちます。年長は月1～2回カワイ体育教室の講師と一緒に遊んでいます。



リズムにのっています



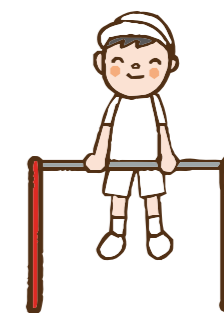
参加型参観



親子で運動あそび



◆ 長い時間立ってられず、ぐにやぐにやしてしまう、背筋が伸びない、散歩時、すぐ「疲れた」と言うこどもが増えているので、心と体を動かす日々の遊びを大切にしています。



遊びは「生活習慣」や「学習習慣」にも結びつき、きっかけづくりとなります

●生活習慣を身につけることは、こどもたちが安心感や自信を持って遊び、周囲と関わっていくようになる為の、基本のひとつと考えています。



●生活に必要な習慣の**第一歩は家庭で行われます**。幼稚園は、お子さまたちがそれぞれの家庭で獲得してきたものを、保育者や他のこどもたちと共に生活する中で、社会的にも身につけていく場です。

●こどもたち一人ひとりに応じた**細やかな対応**が大切です。保育者や大人の行動を模倣しながら自分でやろうとする**気持ち**が芽生えます。その気持ちを温かく見守り、励まし手を添えていきながら、自立心や社会性が育つよう生活をすすめます。

乳幼児期の生活に経験しておきたい動きすべてが、こどものからだづくりにつながります。

雑巾に両手をのせてまえを向いてね

足が滑るよ～、待って!

いすに、ありがとう!



お子さまに分かりやすいように やってみせるにはコツがあります

■ ひとつのことだけを

■ 順序だてて

■ ひとつ、ひとつ正確に

■ ゆっくりと、こどもの呼吸に合わせて

■ やってみる

繰り返えし、
その時々に合わせて
心からの言葉で伝える。
大人の私たちが
モデルですね。

(例)

① ブクブクうがい

・ 口腔内を清浄にし
食後やおやつの後

★ 2回ぐらいブクブク
うがい、口の中のほこり
などを洗い流す

★ 3回ぐらいくりかえす
★ 天井を見るように顔をあげて
ガラガラうがい



(例)

② ガラガラうがい

・ 咽頭部を洗浄したり、
風邪などを予防
・ 戸外から帰った時



排泄行動のスムーズステップ

トイレに行く → パンツを下ろす → 排泄をする → 排泄の始末
水を流す (ボタンを押す) → パンツを上げる
手を洗う (水道の栓の開閉) → タオルで手をふく → トイレから出る

「どこでつまずき」「どこができていないのか」をゆとりをもって見守りできないところはさらにステップを小さくしてみるなどの工夫をしましょう。

- サインを見逃さない
一人ひとりのこどもの排尿、排便のサインに気付きましょう
- 保護者と園(保育者)との連携した働きかけが大切になります。
- 楽しくなる環境づくり
トイレが楽しくなるよう、心がける。こどもの気持ちを汲んで、遊び心から無理強いをしないこと。できたときには大いにほめ、自信をつける

(例)

座って
みようね



● トイレトペーパーの切り方

3回たたんで、
上を押さえて、
紙を切る!



生きる力の基礎として



こどもは自然の中で、体いっぱい四季を感じながら感性を育み合っています。

呼び方

- 当園では、言葉の乱れへの対応や、男女おたがいに尊重しあう関係づくりの一つの取り組みとして「〇〇さん」という呼称に統一をしております。
- 一つのきっかけにすぎませんが、保育者が一人ひとりに「〇〇さん」とやさしく丁寧に呼びかけることで、自分自身は世の中の大切な存在であると感じ、同時に人に対しても思いやりを持つことにつながると 생각합니다。
- 名字や名前を、「〇〇さん」と美しく呼ぶと、その後には、やさしい穏やかな色のある言葉が続きます。



- 「どの子もみんな同じ」という意識が芽生え、認め合う関係のように感じています。

**「遊びが仕事」で「遊びが学び」
かけがえのない一人ひとりの
心の内面が育まれるよう
向き合っています**



地域の方との交流

「自分が大切にされている」「私は大切な存在である」という実感を持った確信は、自ら世界を広げていく心の力になります。

**幼稚園とご家庭を結ぶ
「あゆみノート」**

1学期間におけるこどもたちの日々の「つぶやき」「喜びの声」など、保育者が一人ひとりの表情、姿をお知らせする心の成長記録です。

幼稚園にお返しくださる時、保護者の感想、気づき、要望等もお書きいただく様になっています。

「何でも話せる子育て相談日」

月1～2回設けております。入園前（在園でなくても）ご参加いただけます。子育ての事などお話しください。園長、主任も時には話の仲間にお邪魔します。（個別の話もどうぞ）

「全日私幼連PTA新聞」

親子が存分に幼稚園での生活を楽しみ、お子さまの成長に感動したりできるよう、子育ての「ヒント」を提供しながら、幼児期の保育がいかに大切かをわかりやすく伝えています。

参観日(参加型)





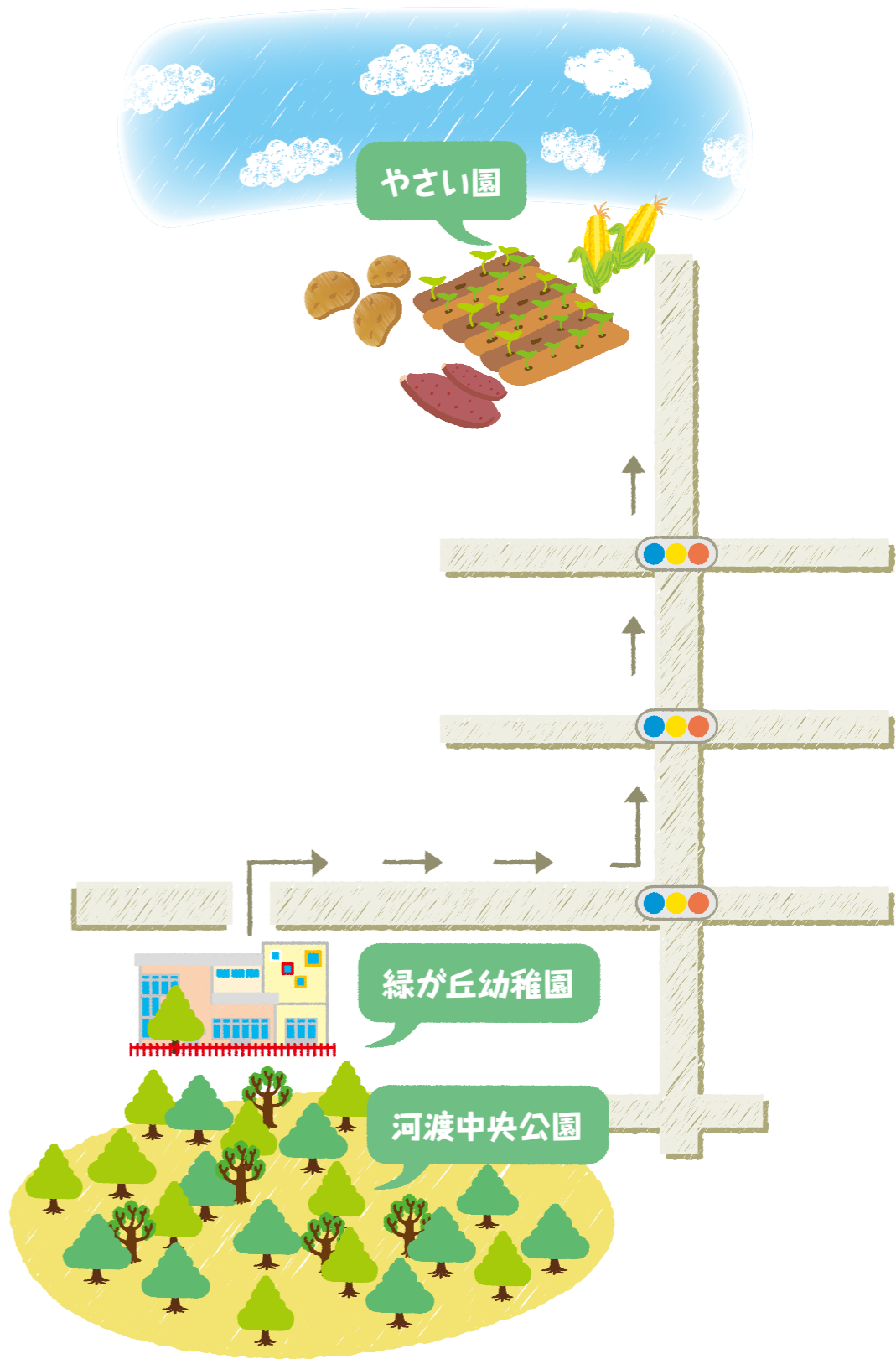
緑が丘幼稚園園歌

谷沢 龍史 作詞
小杉 誠治 作曲

1. 緑が丘にランランラン
 明るいお日様のぼります
 ぼくもわたしもよい子です
 松の緑に囲まれて
 みんなすくすく育ちましょう

2. 緑が丘にランランラン
 楽しく小鳥が鳴いています
 ぼくもわたしもうたいます
 きれいなお花の輪をくんで
 みんな仲良く遊びましょう

3. 緑が丘にランランラン
 かわいい蝶々がとんでいます
 ぼくもわたしもおどります
 お手々つないで虹の橋
 みんなにここにご渡りしましょう



令和3年度 募集園児

《幼稚園部》

- 満3歳児(平成30年4月2日生まれ～
3歳の誕生日を迎えた翌日より、入園していただけます)
※5月1日スタート
- 3歳児 (平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ)
- 4歳児 (平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ)
- 5歳児 (平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ)

《保育園部》 0～2歳児

申込方法 詳しくは、お問い合わせください。

学校法人緑が丘学園 認定こども園 **緑が丘幼稚園**

〒950-0012 新潟県新潟市東区有楽3丁目4番地4

TEL.025-275-3372 FAX.025-270-0563

姉妹園 認定こども園 **京王幼稚園**

新潟市中央区京王3丁目19番1号